



自分なりの方法、ある？

学習進路だより

1月号①



勉強法の工夫を共有するよ！(1)学習/インプット方法 の巻

新年いかがお過ごしですか。学推や学年末テストの準備をしていますか。中間テストの振り返りで、テストのための学習時間について聞いたところ、十分だったと「思わない」人が大多数でした。学年末に向けて、計画を立てて動きましょう！ということで、みなさんから募集した勉強の工夫を大公開！(お悩み相談も！) 今回は(1)学習方法・インプット方法です。

Check!

01

学習方法・インプット方法の工夫いろいろ(演習・問題集の周回を除く)

①教科書・ノート活用

- 重要語句は赤で書く（見やすく）
- 授業の内容を思い出す
- 教科書を中心で学習する
- ノートにまとめる
- ノートはきれいにまとめすぎない
- 大事な単語をマーカーで引く
- 教科書の太字を短くまとめる
- 付箋にメモする

太字をただ書き写しているわけではなく、それについて自分の言葉で短くまとめている、ということだと思います。いいですね！

思い出したことを整理して、足りないところを教科書で復習して補うのはよい方法ですね。「思い出す」ひと手間が頭を鍛えてくれます。

きれいなノートを作ることは勉強の目的ではありません。勉強のゴールは「わかる」「できる」状態になること。演習が大切です！

②単語・暗記の工夫

- 空き時間にアプリを活用
- 英単語は英文とセットで覚える（例：I play baseball.）
- 知識と知識を結びつけながら読む
- 寝る前にやる
- オレンジペンと赤シート活用
- 短時間で繰り返しやる（10分×3回など）
- 英単語は読んで書くを繰り返す
- 苦手な漢字は意味と一緒に練習する
- 和訳＆英訳どちらも完璧にする

寝る前に覚えて朝チェック、は定番！ 音読しながら書くのも大事。音声と文字の関係を考えながら書くと、パターンが見えてきます。

空き時間の有効活用もいいですね。 英単語も漢字も、例文で覚えれば結びつきやすいです。使い方もわかって一石二鳥！

③声・アウトプットの活用

- 声に出て覚える・復習する
- 授業内容をひたすら書き出す
- インプット3、アウトプットアの割合
- 用語の意味や文法の説明を話す（口パク可）
- 教科書などを見ずに頭の中で答えを作る

アウトプットは最重要。思い出して書く、口に出す、話してみる！ 頭で考えるだけだと曖昧になりがち。最後は必ず紙に書いて確認を。

④復習・弱点克服

- 苦手な教科・分野は徹底的に解く
- わからないところを徹底的に復習
- 毎日少しずつ単語の学習・復習
- 苦手なところは先生や友達に聞く
- 間違えた問題はすぐに教科書を見て復習
- 「覚えるために学習する」意識を持つ
- 基礎を多めに学習する
- わかるところを伸ばす

苦手な教科は、好きな教科でサンドイッチしたり最初にやつつけたりして、まずは触れる量を単純に増やすのも大切ですよ。

間違えた理由をどれだけきちんと分析できるかはとても大事。分析でつまずく人は、その段階から友達や先生の助けを借りよう。

応用問題が苦手な人は基礎がしっかりしていないのかも。段階的に進めていこう。 解答後、答え合わせと分析はすぐにやる！

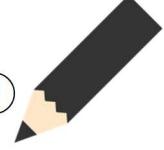
「スピードを高めるため」「解き方を身に付けるため」「英語で話せるようになるため」など、学習（練習）の目的が明確だと効果アップ！

Check!

02

(相談)試験範囲が提示されても、どこから手を付けたらいいのか……

◆どの教科でも、普段から自学で演習をこなして苦手なところを明確にし、改善をつづけていれば、範囲提示後の2週間の計画は立てやすいはず。「やってるけど苦手が多すぎる！」という人は、まず基礎基本から確実にすべし。応用問題も比較的易しいものから取り組み、「基礎基本を使って解ける」という体験・実感を多く積んでください。それが（テストを超えて）後々効いてきます。◆（何らかの事情で）何も手を付けられていないときには、①最初の数日で基礎的な問題（提出すべき課題に含まれているはず）を一通り解いて苦手＆その理由を明らかにし、②順次つぶしていく、のがよいでしょう。



勉強法の工夫を共有するよ！(1)学習/インプット方法 の巻

新年いかがお過ごしですか。学推や学年末テストの準備をしていますか。中間テストの振り返りで、テストのための学習時間について聞いたところ、十分だったと「思わない」人が大多数でした。学年末に向けて、計画を立てて動きましょう！ということで、みなさんから募集した勉強の工夫を大公開！(お悩み相談も！) 今回は(1)学習方法・インプット方法です。

Check!

01

学習方法・インプット方法の工夫いろいろ(演習・周回を除く)

①教科書・ノート活用

- 重要語句は赤で書く(見やすく)
- 授業の内容を思い出す
- 教科書を中心で学習する
- ノートにまとめる
- ノートはきれいにまとめすぎない
- 大事な単語をマーカーで引く
- 教科書の太字を短くまとめる
- 付箋にメモする

△太字をただ書き写しているわけではなく、それについて自分の言葉で短くまとめている、ということだと思います。いいですね！

△思い出したことを整理して、足りないところを教科書で復習して補うのは良い方法ですね。「思い出す」ひと手間が頭を鍛えてくれます。

△きれいなノートを作ることは勉強の目的ではありません。勉強のゴールは「わかる」「できる」状態になること。演習が大切です！

②単語・暗記の工夫

- 空き時間にアプリを活用
- 英単語は英文とセットで覚える(例:I play baseball.)
- 寝る前にやる
- オレンジペンと赤シート活用
- 知識と知識を結びつけながら読む
- 短時間で繰り返しやる(10分×3回など)
- 英単語は読んで書くを繰り返す
- 苦手な漢字は意味と一緒に練習する
- 和訳&英訳どちらも完璧にする

△寝る前に覚えて朝チェック、は定番！ △音読しながら書くのも大事。音声と文字の関係を考えながら書くと、パターンが見えてきます。

△空き時間の有効活用もいいですね。 △英単語も漢字も、例文で覚えれば結びつきやすいです。使い方もわかって一石二鳥！

③声・アウトプットの活用

- 声に出して覚える・復習する
- 授業内容をひたすら書き出す
- インプット3、アウトプットアの割合
- 用語の意味や文法の説明を話す(口パク可)
- 教科書などを見ずに頭の中で答えを作る

△アウトプットは最重要。思い出して書く、口に出す、話してみる！ △頭で考えるだけだと曖昧になりがち。最後は必ず紙に書いて確認を。

④復習・弱点克服

- 苦手な教科・分野は徹底的に解く
- わからないところを徹底的に復習
- 毎日少しずつ単語の学習・復習
- 苦手なところは先生や友達に聞く
- 間違えた問題はすぐに教科書を見て復習
- 「覚えるために学習する」意識を持つ
- 基礎を多めに学習する
- わかるところを伸ばす

△苦手な教科は、好きな教科でサンドイッチしたり最初にやっつけたりして、まずは触れる量を単純に増やすのも大切ですよ。

△間違えた理由をどれだけきちんと分析できるかはとても大事。分析でつまずく人は、その段階から友達や先生の助けを借りよう。

△応用問題が苦手な人は基礎がしっかりしていないのかも。段階的に進めていこう。 △解答後、答え合わせと分析はすぐにやる！

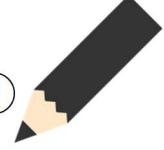
△「スピードを高めるため」「解き方を身に付けるため」「英語で話せるようになるため」など、学習(練習)の目的が明確だと効果アップ！

Check!

02

(相談)試験範囲が提示されても、どこから手を付けたらいいのか……

◆どの教科でも、普段から自学で演習をこなして苦手なところを明確にし、改善をつづけていれば、範囲提示後の2週間の計画は立てやすいはず。「やってるけど苦手が多すぎる！」という人は、まず基礎基本から確実にすべし。応用問題も比較的易しいものから取り組み、「基礎基本を使って解ける」という体験・実感を多く積んでください。それが(テストを超えて)後々効いてきます。◆(何らかの事情で)何も手を付けられていないときには、①最初の数日で基礎的な問題(提出すべき課題に含まれているはず)を一通り解いて苦手＆その理由を明らかにし、②順次つぶしていく、のがよいでしょう。



勉強法の工夫を共有するよ！(1)学習/インプット方法 の巻

新年いかがお過ごしですか。学推や学年末テストの準備をしていますか。中間テストの振り返りで、テストのための学習時間について聞いたところ、十分だったと「思わない」人が大多数でした。学年末に向けて、計画を立てて動きましょう！ということで、みなさんから募集した勉強の工夫を大公開！(お悩み相談も！) 今回は(1)学習方法・インプット方法です。

Check!

01

学習方法・インプット方法の工夫いろいろ(演習・周回を除く)

①教科書・ノート活用

- ・重要語句は赤で書く(見やすく)
- ・授業の内容を思い出す
- ・教科書を中心で学習する
- ・ノートにまとめる
- ・ノートはきれいにまとめすぎない
- ・大事な単語をマーカーで引く
- ・教科書の太字を短くまとめる
- ・付箋にメモする

◆太字をただ書き写しているわけではなく、それについて自分の言葉で短くまとめている、ということだと思います。いいですね！

◆思い出したことを整理して、足りないところを教科書で復習して補うのは良い方法ですね。「思い出す」ひと手間が頭を鍛えてくれます。

◆きれいなノートを作ることは勉強の目的ではありません。勉強のゴールは「わかる」「できる」状態になること。演習が大切です！

②単語・暗記の工夫

- ・空き時間にアプリを活用
- ・英単語は英文とセットで覚える(例:I play baseball.)
- ・寝る前にやる
- ・オレンジペンと赤シート活用
- ・知識と知識を結びつけながら読む
- ・短時間で繰り返しやる(10分×3回など)
- ・英単語は読んで書くを繰り返す
- ・苦手な漢字は意味と一緒に練習する
- ・和訳&英訳どちらも完璧にする

◆寝る前に覚えて朝チェック、は定番！ ◆音読しながら書くのも大事。音声と文字の関係を考えながら書くと、パターンが見えてきます。

◆空き時間の有効活用もいいですね。 ◆英単語も漢字も、例文で覚えれば結びつきやすいです。使い方もわかって一石二鳥！

③声・アウトプットの活用

- ・声に出して覚える・復習する
- ・授業内容をひたすら書き出す
- ・インプット3、アウトプットアの割合
- ・用語の意味や文法の説明を話す(口パク可)
- ・教科書などを見ずに頭の中で答えを作る

◆アウトプットは最重要。思い出して書く、口に出す、話してみる！ ◆頭で考えるだけだと曖昧になりがち。最後は必ず紙に書いて確認を。

④復習・弱点克服

- ・苦手な教科・分野は徹底的に解く
- ・わからないところを徹底的に復習
- ・毎日少しずつ単語の学習・復習
- ・苦手なところは先生や友達に聞く
- ・間違えた問題はすぐに教科書を見て復習
- ・「覚えるために学習する」意識を持つ
- ・基礎を多めに学習する
- ・わかるところを伸ばす

◆苦手な教科は、好きな教科でサンドイッチしたり最初にやっつけたりして、まずは触れる量を単純に増やすのも大切ですよ。

◆間違えた理由をどれだけきちんと分析できるかはとても大事。分析でつまずく人は、その段階から友達や先生の助けを借りよう。

◆応用問題が苦手な人は基礎がしっかりしていないのかも。段階的に進めていこう。 ◆解答後、答え合わせと分析はすぐにやる！

◆「スピードを高めるため」「解き方を身に付けるため」「英語で話せるようになるため」など、学習(練習)の目的が明確だと効果アップ！

Check!

02

(相談)試験範囲が提示されても、どこから手を付けたらいいのか……

◆どの教科でも、普段から自学で演習をこなして苦手なところを明確にし、改善をつづけていれば、範囲提示後の2週間の計画は立てやすいはず。「やってるけど苦手が多すぎる！」という人は、まず基礎基本から確実にすべし。応用問題も比較的易しいものから取り組み、「基礎基本を使って解ける」という体験・実感を多く積んでください。それが(テストを超えて)後々効いてきます。◆(何らかの事情で)何も手を付けられていないときには、①最初の数日で基礎的な問題(提出すべき課題に含まれているはず)を一通り解いて苦手＆その理由を明らかにし、②順次つぶしていく、のがよいでしょう。